

企業の魅力をオンラインで発見！

2月10日、市内企業と高校生が交流する「可児の企業魅力発見フェア」をオンラインで開催しました。

市役所会議室に動画配信会場を設け、参加企業からの説明を会議アプリケーションやYouTube LIVEで配信。高校生は教室のプロジェクターや個人のスマートフォンなどでその模様を視聴しました。

参加した可児工業高校の生徒からは「就職を考えているので、参考になる話を聞いて良かった」などの声が聞かれました。



当日ライブ配信した動画や市内企業紹介動画を配信中▶



750分の1の新工業団地

2月16日、可児工業高校の3年生9人が制作した、(仮称)可児御嵩インターチェンジ工業団地のミニチュア模型を寄贈していただきました。

来庁した渡邊亜純さんは「授業では図面を描いて終わりだったけれど、この機会に模型作りが経験できて楽しかった」、肥田爽羽汰さんは「工業団地にどんな建物が建つか想像しながら作るのが大変だった。これからどんな風景になっていくのか楽しみ」と話しました。

寄贈していただいた模型は、企業誘致課窓口やイベントで展示し、開発中の工業団地の周知に活用していきます。

地域で活躍する

民生委員・児童委員(みんせいさん)の想いを紹介します！

始めたきっかけ

普段から気掛かりな人がいたこともあり、地域の人からの声掛けがきっかけで委員を引き受けました。何かお手伝いができたらと思って始めましたが、最初はただやみくもに動いていたことを覚えています。

地域全体でつなぎ合う

私の地域では、困りごとがある人がいると「新村さん！」と声を掛けてもらえて、地域全体で見守り、支え合う体制があります。相談されたことを専門機関につなぐなどの手助けができたときに、委員になって良かったなと思いました。



阜ヶ丘地区の**新村さん**
(委員歴12年目)



明るい笑顔にいつも元気をもらっています。小さな困りごとでも聞いてくださるので助かっています♪

まちのヒーロー みんせいさん

問 高齢福祉課

笑顔で帰る

これまで続けてこられたのは、楽しく活動ができたからです。無理せず、力みすぎず、自分も会話を楽しんでいきます。

この仕事が大変だと思ったことはあまりないですが、皆さんの役に立てるように努力してきました。訪問活動では深入りしすぎることなく、訪問するタイミングや言葉遣いに気を付けて、いつでも笑って帰ることを心掛けています。

「みんせいさん」の活動の様子が市公式YouTubeでご覧いただけます！

